

# 離床センサー 現場レポート！

VOL.14  
Jul.2010

「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

一人の患者様に複数台のセンサーを設置し、より確実に報知するよう工夫されている、兵庫県 N 苑様と広島県 H 病院様の例をご紹介します！

## 兵庫県・N 苑様

ご使用機種：コールマット・徘徊コールⅢ(HC-3)

### 課題

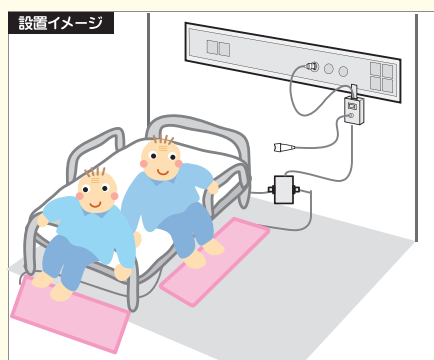
もともと1台のコールマット・徘徊コールⅢを使用していた患者様に、柵を飛び越えるなどの危険行動が出てきた。

### 対策

ヘッド側と片横側を降りられないよう壁に寄せ、フット側と空いている横側の2箇所センサーを設置した。

### 効果

降りようとするどちらかの面でセンサーを踏むので、徘徊行動を見逃さずに済んでいる。



今後はタッチコールや、より増設が簡単なコードレスを検討されているそうです。

## 広島県・H 病院様

ご使用機種：コールマット / ベッドコール・ポータブル(HC/BC-12)

### 課題

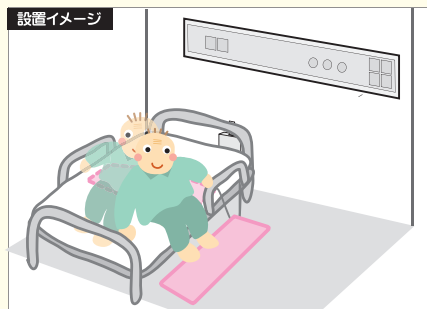
ステーションから離れた病室の患者様なので、コールマットだけだと対応が遅れることがあった。

### 対策

ベッドコールを追加設置して、起き上がりのタイミング(ベッドコール)の報知で駆けつけた時には、立ち上がろうとしているタイミングで対応できるようにした。

### 効果

報知に対してちょうど良いタイミングでの対応ができる。また、他の業務などで1度目の報知(ベッドコール)で対応できない、あるいは報知を見逃しても2度目(コールマット)があることで対応ができるようになった。



H 病院様では専用受信器(センサーごとに識別報知可能)をお使いのため、この方法がより効果的だったようです。



### 分岐ハーネスをご存知ですか？

ケーブルタイプのセンサーを増設する際に、部材やコードが増え困った...  
ということはないでしょうか。  
そんな時は1つの中継ボックス・送信器に2~3台センサーを接続できる「分岐ハーネス」が便利！(兵庫県・N 苑様イメージ図参照)  
患者様の危険などを考え、少しでも部材やコードは減らしたいですね。

分岐ハーネスのRCAジャックを  
中継ボックス、または送信器に  
差し込みます

